

随時試験におけるタイムスケジュール

【例】

機械加工職種 普通旋盤作業 随時2級 受検者2名 学科及び実技受検

実技試験：「標準時間」3時間 「打切時間」3時間30分 「練習時間」30分

学科試験：1時間40分

集 合

8時30分 技能検定委員及び協会職員が試験実施場所へ訪問します。※1
～ 実技試験会場へ移動 ～

実 技 試 験 ※7

8時35分 協会職員により受検者の受付及び受検票を交付します。
技能検定委員により試験で使用する設備及び材料や道具等を確認します。※2
8時40分 技能検定委員により実技試験実施にあたっての注意事項等を説明します。
8時50分 希望があれば練習を開始します。(最大30分)
9時20分 実技試験を開始します。
12時20分 実技試験(標準時間)を終了します。
12時50分 実技試験(打切時間)を終了します。※3※4
実技試験の終了後、技能検定委員により採点が行われます。

～ 受検者や技能検定委員や協会職員の休憩及び学科試験会場への移動開始 ～

学 科 試 験 ※7

13時50分 協会職員により学科試験実施にあたっての注意事項等を説明します。
14時00分 学科試験を開始します。※5
15時40分 学科試験を終了します。
学科試験の終了後、協会職員により採点が行われます。

解 散

16時00分 技能検定委員及び協会職員が退所します。※6

(注意事項)

- ※1 上記のスケジュールは、普通旋盤を2台用意し、実技試験は2名同時に開始できる場合となります。
- ※2 普通旋盤を1台しか用意できない場合で複数の受検者がいる場合は、16時までに複数回実技試験を実施することが困難なことが予想されます。その場合は、複数の受検者の受検月を分ける等の事前調整を行い、機構に登録する必要があります。
- ※3 試験実施場所は、受検申請書に記載された試験会場の所在地になります。
- ※4 試験日程の決定通知に集合時間を記載しています。実技試験会場では、試験が速やかに実施できるよう実習実施者は集合時間までに受検者を集合させ、試験設備、試験材料、道具等の準備及び確認を必ず先に行ってください。なお集合時間までに準備が整っていない場合は、技能検定委員によって試験が実施できないと判断され、試験が中止「棄権扱い」となる場合があります。試験に必要な設備や材料等は、

実施要領や実技試験問題に記載された物及び数量以外認められておりませんので、ご注意ください。

- ※5 受検者が希望した場合は、標準時間を超えて打切時間まで受検することができます。
- ※6 受検級や作業によって試験に要する時間が異なります。実技試験の所要時間は、打切時間で計画してください。
- ※7 学科試験は試験開始から30分経過後、受検者の希望により試験を終了することができます。
- ※8 技能検定委員の判断により、当日の実技試験と学科試験の実施順序が逆になる場合もあります。
- ※9 休憩の有無、取得のタイミング及び時間については、技能検定委員の判断により変わる場合があります。